

サム

Sam Wilson

【出身中学校・高校】

イギリス国内

大学/ヨーロッパ美術と文化

イギリス出身。大学を卒業後、高校の外国語指導助手(ALT)として東根市へ。奈緒さんと出会い結婚、農業を営むように。

坂井 奈緒

Sakai Nao

【出身中学校】

村山市立福岡中学校

高校/普通

専門学校/ビジュアルアート

村山市出身。専門学校卒業後、映画制作会社に就職。その後山形に戻り、実家を拠点にしてフィリピンやインドに旅に出る。その後平成16年就農。

農業は
生きるために大事な
「食べ物」をつくる仕事

目標
農業を通して、
世界の人人々に
人・自然に囲まれる
安心感を提供する。

奈緒さん

家族と一緒にできる仕事がしたかった。
それが農業でした。

山形人の持つ“自然と共に暮らす力”にあこがれて。

サムさん

夫婦が田畑で仕事をする周りで子ども達が遊び、その様子を祖父母が見守る、それは奈緒さんがアジアを旅した際に見た、家族の風景です。「物が少ない地域でしたが、モノやお金ではない豊かさを知り、家族と一緒にできる仕事がしたいと思いました。」故郷に帰り、何気ないあいさつや地域の仲間にもふれ、それまで以上に地域が好きになりました。

こんな自身の体験を活かし、家族で営む「こめやかた」では農作業体験の受け入れや、格安で長期滞在ができるゲストハウスの運営も行っています。山形の農業や観光を体感したいと、日本各地、そして世界から人々が訪れています。「田舎ならではの生きた日本を感じられる、ここにはそんな魅力があります。」

22歳で日本を訪れたサムさんは、日本ならではの季節感や、自然といっしょに暮らす人々の生活、地域ならではの食文化に魅力を感じました。そして子どもの頃から家庭菜園の手伝いをしてきたこと、体を動かすのが好きだったことから、坂井家や奈緒さんの営む農業にも、すぐに打ち解けました。

サムさんは、「草取りも、田植えも、収穫も。一日自分が何を努力したのか、結果が見てわかります。また、人間が生きるために最も大事な「食べ物」を育てる、これ以上必要とされている仕事はないですよ。」と、農業のやりがいについて教えてくれました。「仕事の選択肢はたくさんあります。本を読んで視野を広げ、自分の生き方を見つけてほしいです。」



こめやかた
坂井さんが
主に作っているもの



米(3ha)



さくらんぼ(10a)



きゅうり(10a)



枝豆(10a)



なす(10a)

こめやかたの加工品



こめやかたで人気の「杵つき餅」は、1シーズン1300升、実際にきねと臼でつきあげられます。「勇気米」の勇気には、有機栽培にかける決意と努力、食べる人からもらう勇気の気持ちが込められています。

坂井夫妻にQuestion!

Q. 中学生の頃好きだった教科は何ですか?

奈緒 数学です。一つの答えを導き出す過程が楽しくて。論理的に説明していく証明に夢になっていました。

サム 科学が好きでした。実験が特に!パソコンの授業も興味深く取り組んでいました。

Q. 今、お気に入りの品を教えてください

奈緒 サム みんなで着ている「こめやかたTシャツ」。どこで仕事をしていてもみんながいると思えてほっとします。私はピンク、サムくんは青です。

お気に入り
毎日楽しく!

